



令和4年10月7日
海上保安庁

アジア 22 か国 1 地域 1 機関の海上保安機関がインドで会合 ～「第 18 回アジア海上保安機関長官級会合」への参加について～

10月14日から10月18日まで、インド・ニューデリーにて、アジア地域の海上保安機関による「第18回アジア海上保安機関長官級会合」が開催され、海上保安庁から白石昌己海上保安監が出席します。

会合では「捜索救助」、「海洋環境保全」、「海上不法活動の予防・取締り」及び「人材育成」の4分野について、アジア地域における国際連携強化策等を協議します。

1 経緯

2004年から我が国主導により開催しており、2015年以降、アジア22か国、1地域、1機関の海上保安機関長官級が参加する定期的な多国間会合として、各国主催の持ち回りで毎年開催されています。

本年は、インドがホスト国を務め、今回で18回目の開催となりますが、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大以降、3年振りの対面での開催となります。

2 開催期間・場所

日時：令和4年10月14日(金)から10月18日(火)まで

場所：インド・ニューデリー

3 メンバー国・地域等(22か国、1地域、1機関)

オーストラリア、バーレーン、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、フランス、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、トルコ、ベトナム、ラオス、香港(中国)、ReCAAP-ISC

4 主な議題

- (1) 捜索救助
- (2) 海洋環境保全
- (3) 海上不法活動の予防・取締り
- (4) 人材育成